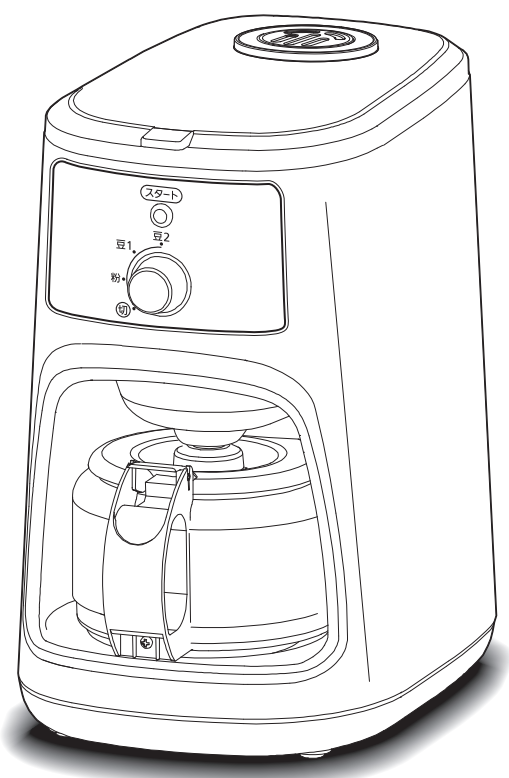


全自動コーヒーマー IAC-A600

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
各部の名称	4

取り扱いかた

使いかた	5
お手入れ	6

こんなときには

故障かな？と思ったら	9
仕様	10
保証とアフターサービス	11
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

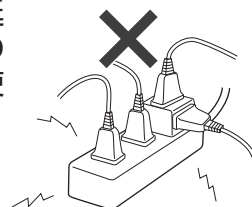
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 蒸気口や保温プレートに手や顔などを近づけない
やけどの原因になります。

- ミルの回転中・ドリップ中は、絶対にカバーを開けない
やけど・けがの原因になります。



接触禁止

- 通電中はミルの刃に触れない
けがの原因になります。お手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。



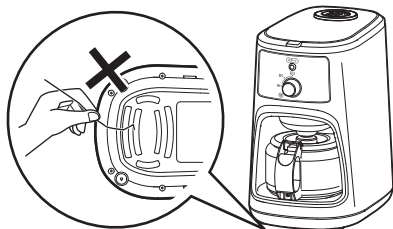
- 屋外で使わない
火災・感電の原因になります。



- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 製品のすき間や開口部に、異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店
または修理専用コールにご相談ください。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所
では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけ
たりしない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理
技術者以外の方が修理を行うことは危険
です。
修理については、お買い上げの販売店また
は修理専用コールにご相談ください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的
損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 必ず付属のコーヒーマーを使用す
る
火災・やけど・けがの原因になります。



- コーヒーマーをセットせずにドリ
ップしない
- ドリップ途中でコーヒーマーを外
さない
- 付属のコーヒーマーを他の機器で
使用しない
- コーヒーマーを電子レンジ・直火
で使用しない
やけど・火災の原因になります。
- コーヒーマーをセットしたまま移
動しない
落下してやけどやけがの原因になります。
- コーヒーマーを落としたり、かた
いものにぶつけたりしない
- コーヒーマーは冷凍庫に入れない
- コーヒーマーを急に冷やさない
ガラスが割れて、けがややけどの原因にな
ります。



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒し
てけがや火災の原因になります。



- コーヒーマー以外の用途に使用し
ない
異常動作・火災の原因になります。



- 給水タンクに水を入れないでドリッ
プしない
- 給水タンクに水以外のものを入れない
やけどや火災の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コード
を持たずに必ず電源プラグを持って引
き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プ
ラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因にな
ります。



- 壁や家具、カーテンなど、燃えやすい
ものの近くで使用しない
- 畳・じゅうたん・テーブルクロスなど
熱に弱いものの上で使用しない
周囲や家財の変色・汚損の原因になり
ます。

各部の名称

初めて使用するときは、水タンク・メッシュフィルター・お湯出口カバーを取り外して洗ってください。(→P6)
 コーヒーサーバー・コーヒーサーバーふた・計量スプーンも洗ってください。(→P7)
 ※ 洗った後、よく乾かしてください。



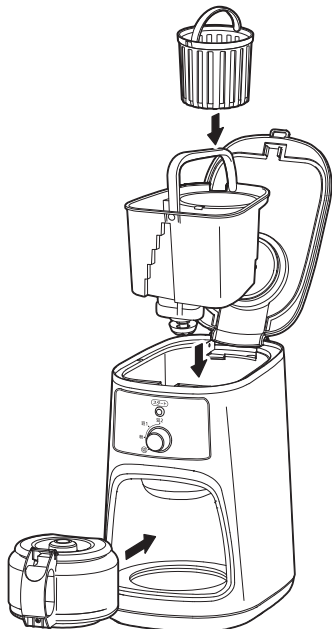
■付属品



使いかた

1 水タンク・メッシュフィルター・コーヒーサーバーをセットする

- ・カバーを開け、水タンクとメッシュフィルターをセットしてください。



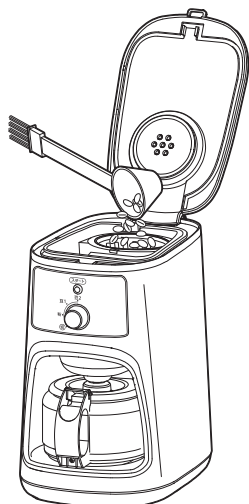
- コーヒーサーバーは、必ずふたを取り付けてセットしてください。ふたがないと、しずくもれ防止弁が開かず、ドリップしたコーヒーが下に落ちてきません。
- 水タンクはしっかりと差し込んでください。

2 コーヒー豆または粉を入れる

- ・メッシュフィルターの内側に入れてください。
- ・粉または豆は、下の表を目安にして量って入れてください。
- ・付属の計量スプーンは、粉・豆ともに、すりきり1杯で約4gです。

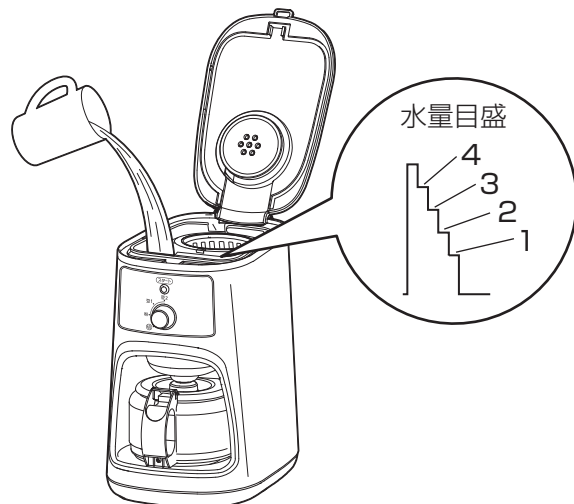
※ 粉・豆の量は目安です。お好みで加減してください。

コーヒーの分量	1杯	2杯	3杯	4杯
粉・豆の量	12g	18g	27g	36g



3 水タンクに水を入れる

- ・水タンク内側の階段状の目盛（1段が1杯）に合わせて、ドリップする分量の水を入れてください。（最大4杯分）

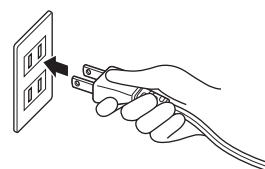


注意

- 水タンクに水を入れるときは、本体にかかったり、周囲にこぼしたりしないように注意してください。
- 蛇口やポットから直接給水したり、勢いよく注いだりしないでください。

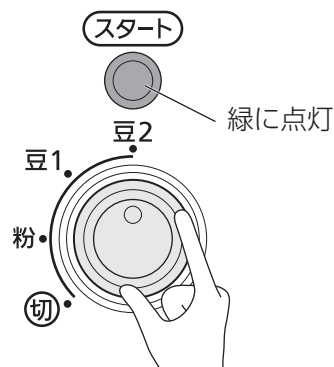
4 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・スタートボタンが緑に点灯します。



5 モードを選ぶ

- ・モード切替つまみで選んでください。



粉	粉でコーヒーをドリップするとき
豆1	豆を粗挽きしてコーヒーをドリップするとき
豆2	豆を中挽きしてコーヒーをドリップするとき

つづく→

使いかた つづき

6 スタートボタンを押す

- ・スタートボタンが赤の点灯に変わります。
- ・粉のときはドリップが始まります。
- ・豆1・豆2のときは、ミルが動作して豆を挽いた後、ドリップが始まります。



7 ドリップが終わったら、コーヒーサーバーを取り出してカップに注ぐ



- ・抽出が終了した後も、**40分間**保温されます。保温する場合は、コーヒーサーバーを保温プレートの上に戻してください。
- ・保温中は温度を検知して、ヒーターの動作により**スタートボタン**が赤に点灯したり緑に点灯したりします。

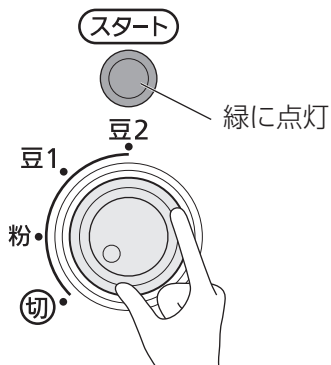


注意

- コーヒーサーバーが空または残り少なくなったら、保温を切ってください。保温をつづけると焦げ付きやにおいの原因になります。
- 長時間保温すると風味が悪くなります。できるだけ早めに飲んでください。

■保温を切るには

- ・モード切替つまみを**切**にしてください。
- ・スタートボタンは緑の点灯になり、40分（保温時間）が過ぎると消灯します。



※保温を終了したら、必ず電源プラグを抜いてください。

お手入れ



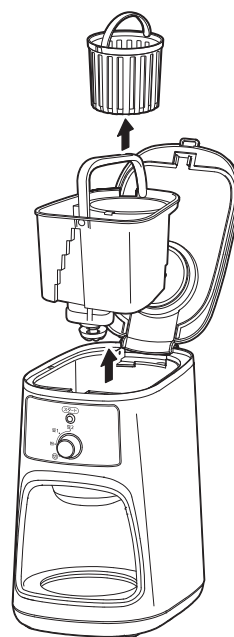
注意

- お手入れは、必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

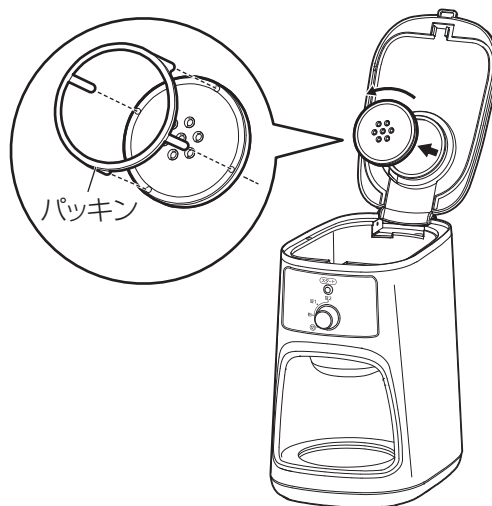
水タンク・メッシュフィルターの取り外しかた

- ・水タンクは、カバーを開け、ハンドルを持って上に引き上げてください。
- ・メッシュフィルターはハンドルを持って上に引き上げてください。



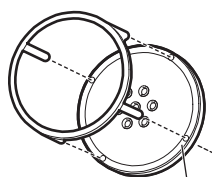
お湯出口カバーの取り外しかた

- ・反時計まわりに回して取り外してください。
- ・パッキンも取り外せます。ゆっくり引っ張り、パッキンの固定用凸部がお湯出口カバーの穴から外れるようにしてください。



お湯出口カバーの取り付けかた

- パッキンの固定用凸部を、お湯出口カバーの穴にしっかり差し込んで固定してください。



穴の奥まで差し込む

- お湯出口カバーにパッキンを取り付けたら、マークを本体ふたのに合わせて押し込み、時計まわりに回してしっかり固定してください。



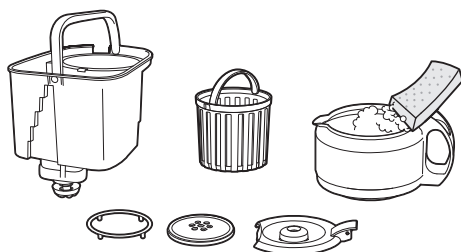
マークを合わせてはめ込んでから回して締める

水タンク・メッシュフィルター・お湯出口カバー・コーヒーサーバー・コーヒーサーバーふた

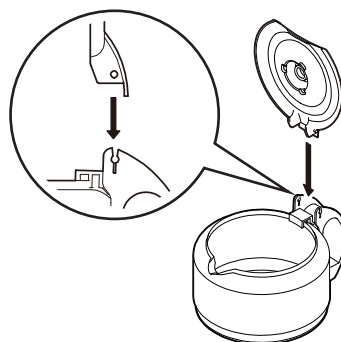
抽出済みの粉を捨てる

薄めた台所用中性洗剤とスポンジで洗う

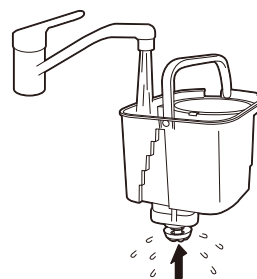
- お湯出口カバーはパッキンも取り外せます。(→P6)



- コーヒーサーバーふたは、上に引っ張って外してください。取り付けるときは上からヒンジ部分を押し込んでください。



- 水タンクは、ミル部に水を入れ、下面のしずくもれ防止弁を押して水を流し、内部を洗ってください。



- 洗った後、水でよく流して、よく乾かしてください。

本体

よくしぼったふきんで拭く

- 保温プレートにこぼれたしずくなどは、よく拭き取ってください。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、かたくしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



注意

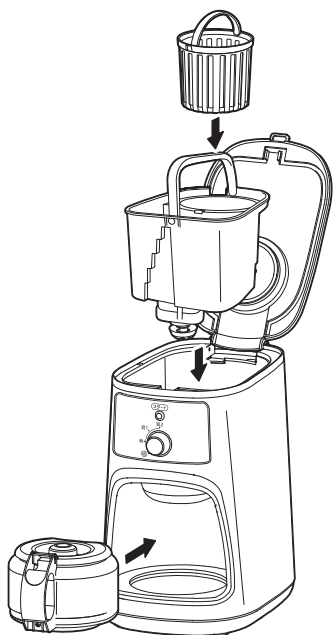
- 水タンク内のミルのお手入れは、カッターでけがをしないように注意してください。

お手入れ つづき

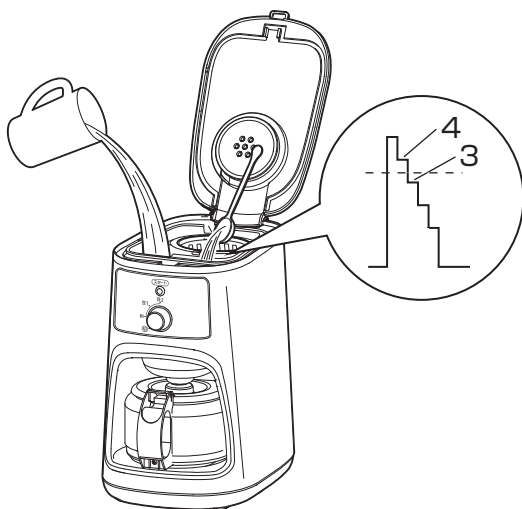
クエン酸洗浄

使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されて、お湯の通り道に付着します。これが固まると、お湯の出が悪くなったりします。汚れが目立ってきたり、お湯の出が悪くなってきたら、クエン酸洗浄を行ってください。

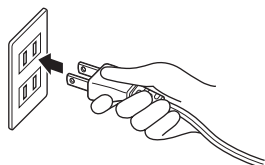
- 1 コーヒーの粉・豆は入れずに、水タンク・メッシュフィルター・コーヒーサーバーをセットする



- 2 水タンクに水約500mL（水量目盛：3杯半程度）、クエン酸10gを入れかき混ぜる
・ 約2%のクエン酸水溶液ができあがります。

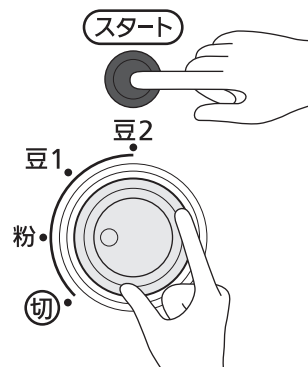


- 3 電源プラグをコンセントに差し込む

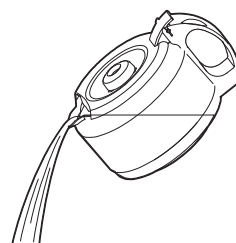


- 4 モード切替つまみを粉に合わせ、スタートボタンを押す

※ コーヒー粉・豆は絶対に入れないでください。

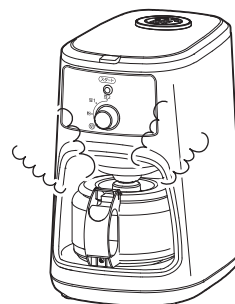


- 5 ドリップが終わったら、お湯を捨て、コーヒーサーバーをよくすすぐ



- 6 水タンクに水を満水まで入れ、コーヒーサーバーをセットしてお湯のドリップをする

・ クエン酸のにおいを取るために、お湯のドリップを2～3回くり返してください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (モード切替つまみを回しても、スタートボタンが点灯しない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
スタートボタンを押しても動作しない	●モード切替つまみが切になっている	●モード切替つまみで粉または豆1または豆2を選んでください。
コーヒーができない	●スタートボタンを押していない(スタートボタンが赤になっていない)	●スタートボタンを押して赤の点灯にしてください。
	●水タンクに水を入れていない	●水タンクにコーヒーをドリップする分の水を入れてください。
	●豆を入れたのにモード切替つまみで粉を選択した(ミルが動かなかった)	●豆を入れるときは、モード切替つまみで豆1または豆2を選んでください。
コーヒーが落ちてこない	●コーヒーサーバーをセットしていない	●必ず付属のコーヒーサーバーをセットしてください。(コーヒーサーバーをセットすると、しずくもれ防止弁が開きます。)
	●付属のコーヒーサーバー以外のものを使用している	
	●コーヒーサーバーにふたをセットしていない	
コーヒーの出が悪い	●しずくもれ防止弁などにゴミが詰まっている	●水タンクを取り外してゴミを取り除き、よく洗ってください。ミル部に水を入れ、しずくもれ防止弁を押して水を流し、内部を洗ってください。(→P6)。
	●本体内の給水経路やしずくもれ防止弁などに水あかが詰まっている	●クエン酸洗浄してください。(→P8)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

定格電源	AC 100V、50／60Hz
消費電力	900W
ドリップ容量	600mL
寸法（コーヒーサーバーを含む）	幅177×奥行286×高さ292 mm
質量	2.5kg
電源コード長さ	1.1m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

廃棄について

●製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

全自動コーヒーマーカー IAC-A600

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からの問い合わせは <http://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールアドレスにご記入のうえ送信してください